現場社員に直接アタック！米国株セミナー
～信用取引編～

2024年7月25日（木）

楽天証券株式会社
株式・デリバティブ事業部
紙田 智弘

Rakuten 楽天証券

米国株式信用取引をしたことありますか？

※YouTubeのチャット欄でご回答ください！

１）米国株式信用取引をしている（したことがある）！

２）興味はあるけどまだ取引したことはない

３）もう少し理解したら考える

※２番３番の方は、何が解消されたらはじめようと思うかも
よろしければ教えてください！

米国株式信用取引に何を期待しますか？

※YouTubeのチャット欄でご回答ください！

A）利益を大きくしたい

B）下落相場で利益を狙いたい

C）デイトレード

D）現物取引よりお得に取引したい

今日の内容

１．　米国株式信用取引の基本（メリット・ルール）

２．　取引のはじめ方・注文方法

３．　Q&A

（参考）米国株式信用取引を使ったリスクヘッジ

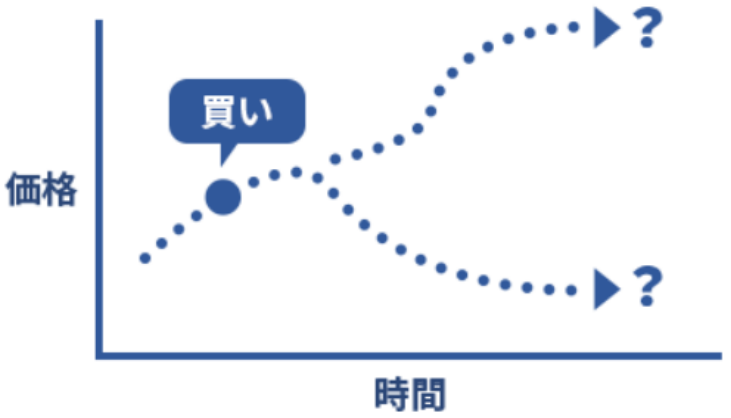
米国株式信用取引の基本
信用取引活用のメリット

現物取引だけだと

投資できる資金

自分の持っている資金の範囲

投資のスタート



「買い」からのみ

1日の同じ資金での売買回数

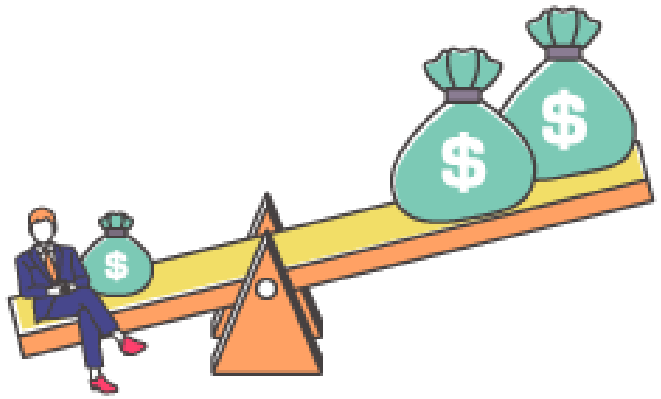
同じ銘柄の売買は1回（買い→売り）

※別銘柄への乗り換え売買は可能！

投資戦略が限定的になる…

信用取引を活用すると

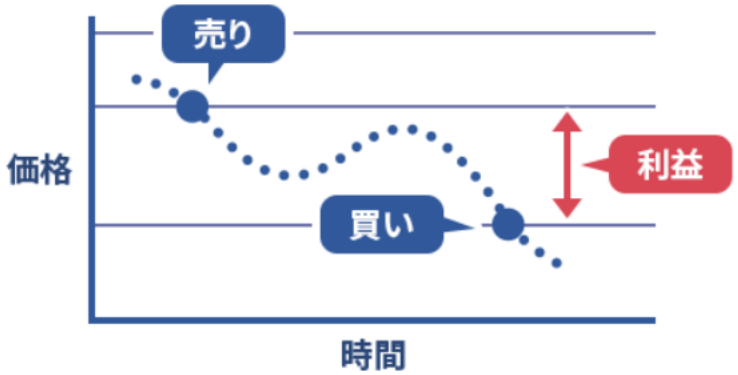
投資できる資金



自分の資金の最大2倍！

レバレッジ効果

投資のスタート



「売り」からも始められる！

下落相場でも利益を狙える

1日の同じ資金での売買回数

同じ銘柄でも何度でも売買可能！

資金効率が良い

様々な局面に合わせた、幅広い投資戦略で資産運用が可能に！

デイトレードに興味があるなら必見！

＼2024年10月末までアーカイブ配信／

実際の米国市場の取引時間中にリアルタイムでデイトレードのやり方を解説！
マーケットスピードIIの使い方、テクニカルチャートの見方や売買タイミングの考え方などが学べます！

※PCウェブサイトからの視聴は「過去のセミナー一覧」よりご視聴ください。
URL：https://www.rakuten-sec.co.jp/web/learn/seminar/20240718-01/

スマホでの
視聴はこちらから！

米国株式信用取引の基本
取引ルール

米国株式信用取引概要（日米の比較）

	米国株式	国内株式
取引口座	外国株式信用取引口座	信用取引口座（国内株式）
信用種類	一般信用取引「無期限」	制度信用取引 一般信用取引「無期限」 一般信用取引「短期」 一般信用取引「いちにち信用」
取引種類	買建、売建、現引、現渡	
決済方法	外貨決済（米ドルで取引） 円貨決済（現引・現渡のみ可）	円貨決済（日本円で取引）
損益	米ドルで発生	日本円で発生
譲渡益税の計算・徴収	日本円で計算・徴収（税率20.315%）	
最低委託保証金	30万円相当額（当社が指定する計算方法で算出）	30万円
委託保証金率	50%（レバレッジ2倍）	30%（レバレッジ約3.3倍）
最低委託保証金率	30%	20%
自動ロスカット	あり（保証金率が10%以下となった場合）	なし（当社の任意）
保証金現金	米ドル 日本円（95%評価）	日本円
代用有価証券	米国株式（70%評価）	国内株式（80%評価） 投資信託（80%評価）
追証解消期限	追証発生日の2営業日後の12:00	
不足金解消期限	受渡日の15:30	

【準備】外国株式信用取引口座の開設

米国株式信用取引をするには「外国株式信用取引口座」の開設が必要！

楽天証券

総合口座

現金（預り金）

現物取引

サブ口座

信用取引口座
（国内株式・外国株式）

FX取引口座

先物・オプション取引口座

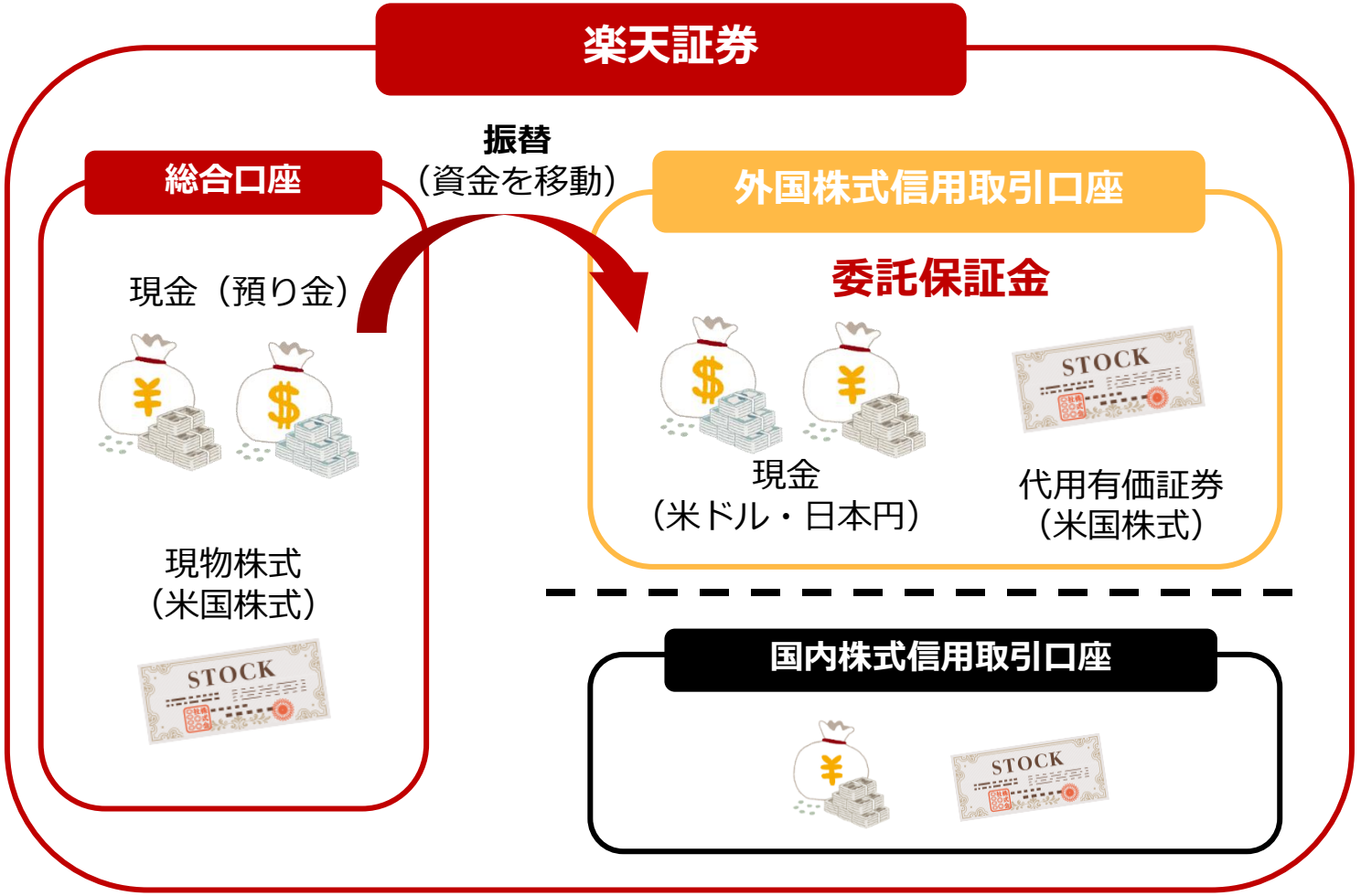
総合口座とは別に
開設手続きが必要！

信用取引口座開設基準

- ✓ 弊社の総合取引口座または法人口座を開設している
- ✓ インターネットをご利用になれる環境にある　（仲介業者経由のお客様を除く）
- ✓ ご自身のメールアドレスをもっている
- ✓ 登録の電話番号に間違いがなく、常時連絡をとることができる
- ✓ 他社を含め、信用取引あるいは一定の現物株式取引の投資経験がある
- ✓ 金融資産が100万円以上ある
- ✓ 年齢が80歳未満であること

【準備】最低委託保証金

外国株式信用取引口座に<u>最低30万円相当額</u>を入れる必要！



委託保証金として利用できる資産

- ✓ 米ドル
- ✓ 日本円（95%評価）
- ✓ 米国株式（代用有価証券、70%評価）

PCウェブサイトログイン＞米国株式＞信用注文＞「信用取引情報」画面で確認できます

保証金率

基本保証金率	50 %
最低保証金率	30 %
ロスカット保証金率	10 %
当社最低保証金	2,100.00 USドル
	347,009 円

参考為替レート 156.98 円/ドル （07/23 06:10）

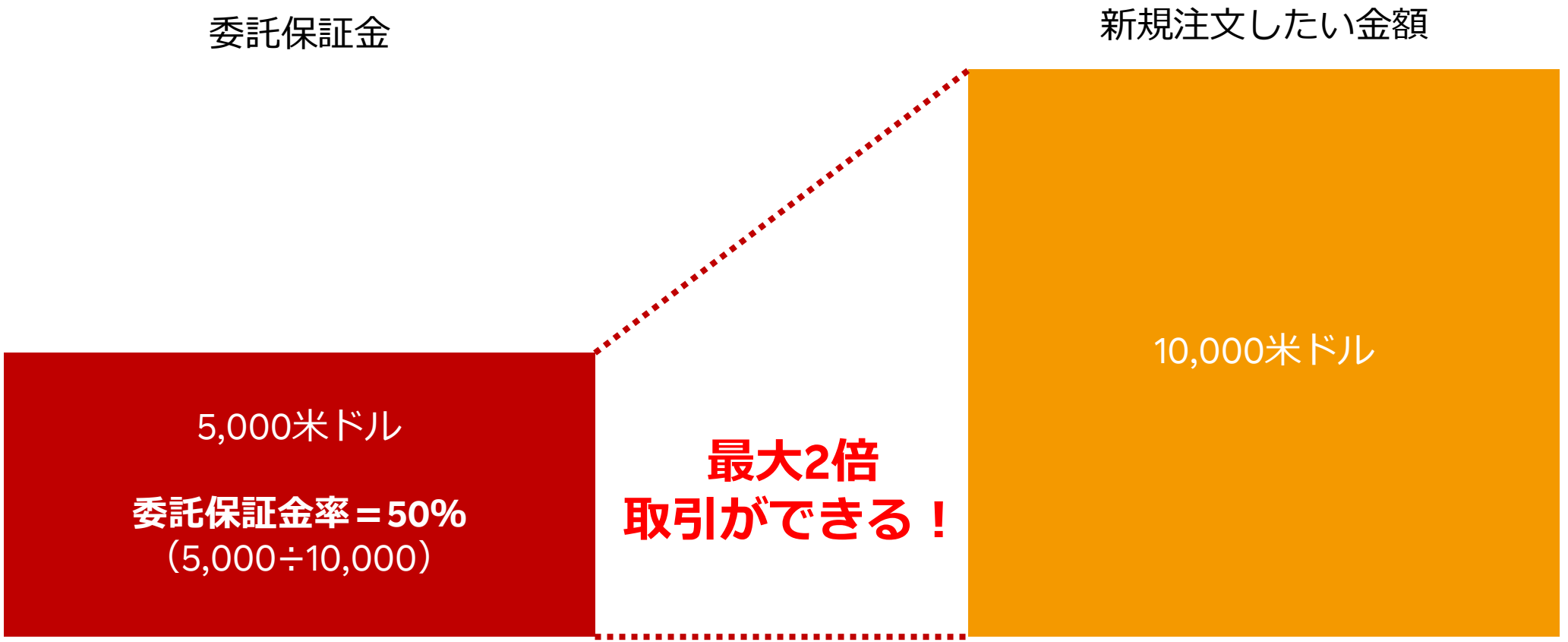
【取引】決済と損益の通貨

実際の取引・受渡は米ドル、税金の計算は円換算額

※現引・現渡は円貨決済も可能！

【取引】委託保証金率

新規注文（＝新規建て）する金額に対して必要な委託保証金の割合
米国株式信用取引は50%＝レバレッジ2倍
（参考：国内株は30%＝レバレッジ約3.3倍）



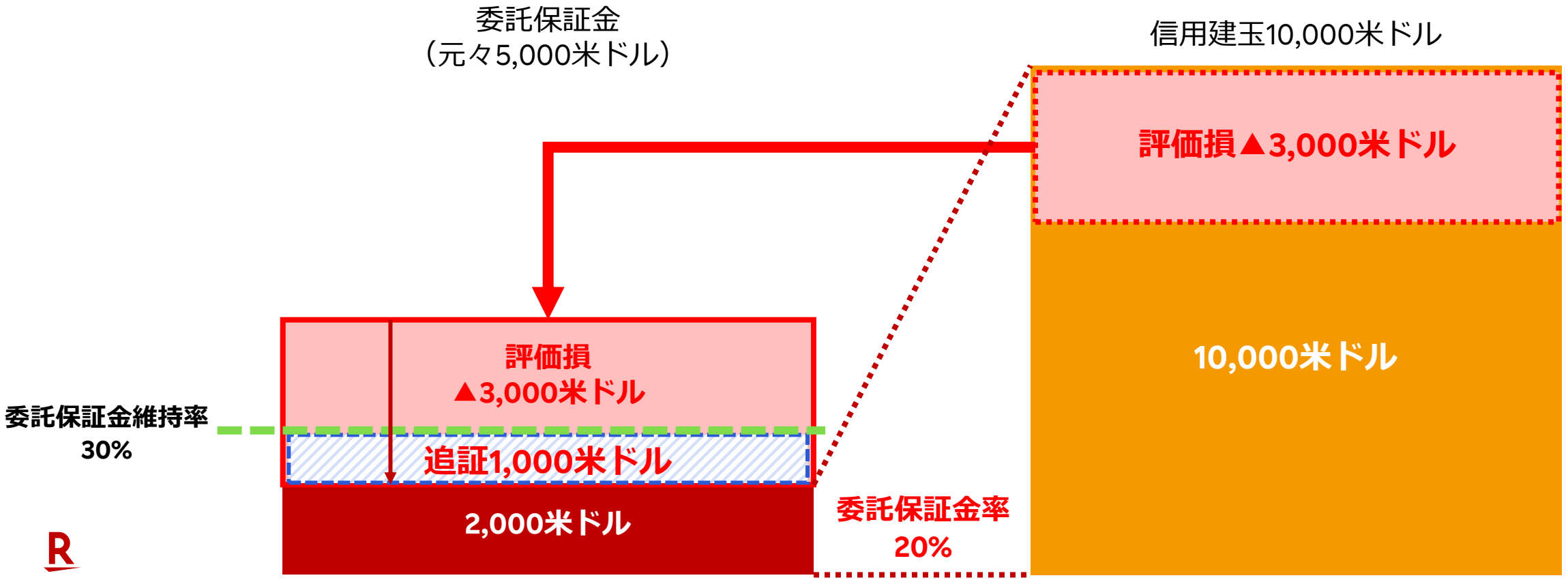
【取引】追加保証金（追証）

委託保証金維持率

信用建玉の保有を継続するためにキープしなければいけない
信用建玉の金額に対する委託保証金の割合＝**30%**

追加保証金（追証）

追加で保証金を入れなければいけない状態。
評価損（含み損）の拡大で委託保証金率が30%を下回ると発生。



米株信用の取引コスト

	米国株　信用取引	米国株　現物取引
取引手数料	約定代金×**0.33%**（税込） （最低0米ドル※1、**上限16.5米ドル**（税込））	約定代金×0.495%（税込） （最低0米ドル、上限22米ドル（税込））
金利（買建）	4.5%（年率） →日次約0.0123%（4.5%÷365）	―
貸株料（売建）	通常2.0%（年率） →日次約0.0054%（2.0%÷365）	―

現物と信用の往復（買い→売り）手数料の差（上限で比較）＝11米ドル

ただし、金利または貸株料がかかる→信用取引の方がコスト高い？

※1：最低手数料が無料になるお取引は、約定代金が3.33米ドル以下のお取引のみとなります。約定代金が3.34米ドル以上のお取引には、「約定金額×0.33%（税込）」（最大16.5米ドル（税込））の手数料が適用されます。当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

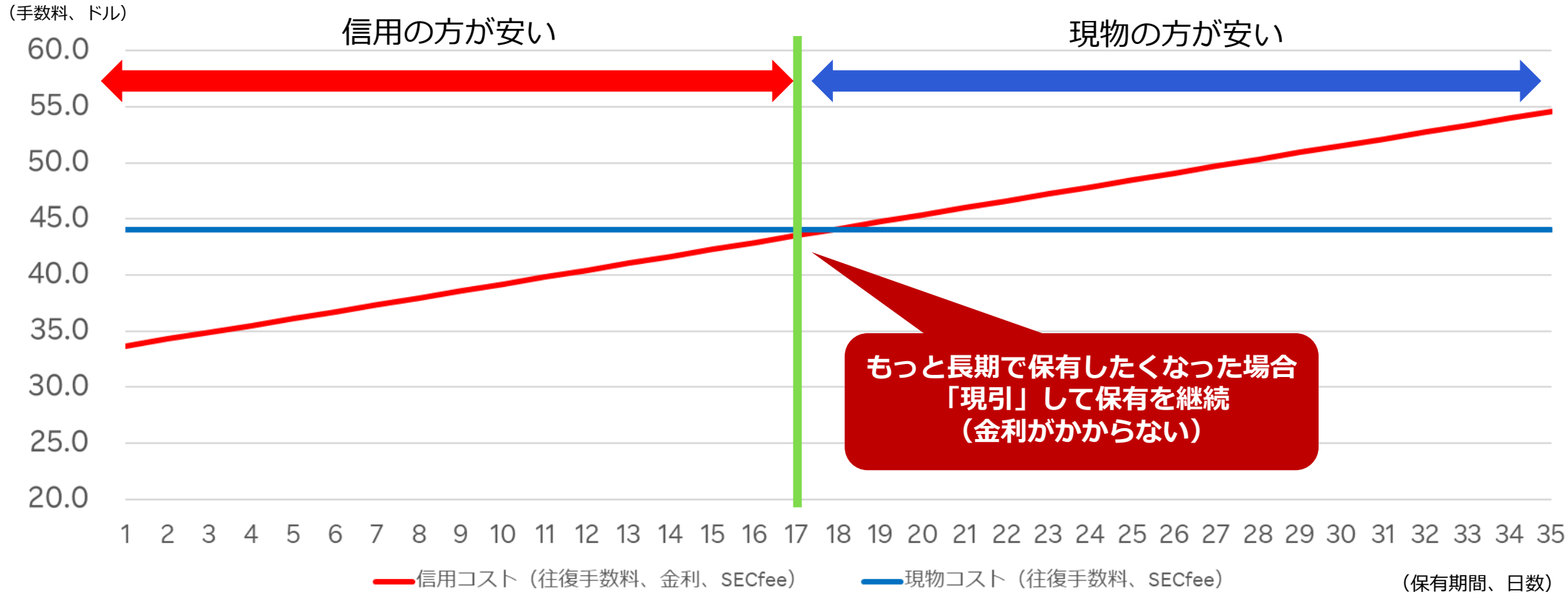
米国株 現物vs信用コストはどっちが安い？

【前提】買付時、売却時の約定代金が5,000米ドル（株価変動なし）と仮定

- 現物取引手数料（買い、売り）：5,000×0.495%（税込）>=22 ⇒ 往復合計44米ドル
- 信用取引手数料（新規、返済）：5,000×0.33%（税込）>=16.5 ⇒ 往復合計33米ドル
- **信用買方金利** ：5,000×4.5%/365 ⇒ **1日あたり0.62米ドル**
- その他、現物・信用ともに売却時は別途SEC feeがかかる。※米ドル約定代金×0.0000278米ドル（2024年7月22日時点のSEC fee）で計算。

上記前提では、17日以内で決済・売却すると信用取引の方がコストが安い！

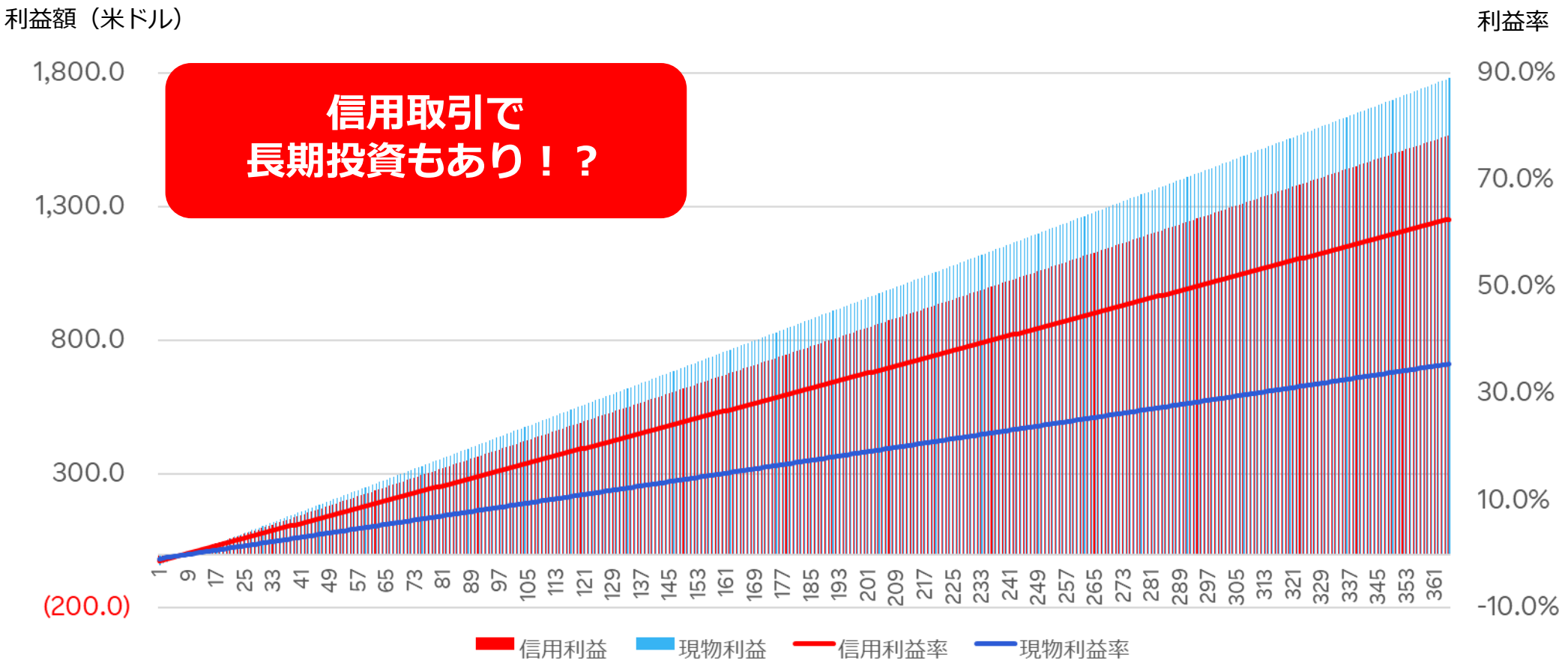
※現物と信用のどちらのコストが安くなるかは、建玉金額や保有期間によって変わります。



利益率で考えると信用取引の方が効率が良い！

■【前提】5,000米ドル買付し、株価が日次0.1%ずつ上昇していくと仮定して試算した場合の利益額と元手資金に対する利益率
- 現物取引の場合の元手資金　＝**5,000**米ドル
- 信用取引の場合の元手資金（必要な委託保証金）＝**2,500**米ドル

■1年後（365日後）の売却価格：6,825米ドル（株価36.5%上昇）
- 現物取引の利益額＝6,825米ドル - 5,000米ドル - **往復手数料44米ドル** - SEC fee0.26米ドル＝1,780.74米ドル **（利益率：35.6%）**
- 信用取引の利益額＝6,825米ドル - 5,000米ドル - **往復手数料33米ドル** - **金利225米ドル** - SEC fee0.26米ドル＝1,566.74米ドル **（利益率：62.7%）**



いくらまでなら信用取引の方が安い？※デイトレードで買建

現物取引と信用取引の上限の手数料の差は11米ドル

1注文の約定代金**89,222.22米ドル以下**なら

（約14,097,111円）※1米ドル=158円で計算

金利は10.99米ドルなので信用取引の方がコストは安い！

※デイトレード（日計り取引=1日分の金利）

【計算式】

約定代金89,222.22米ドル×4.5%÷365＝10.99米ドル

※小数点第3以下切り捨て

※「現物取引手数料上限の往復」と「信用取引手数料上限の往復＋金利」で比較

米国株式信用取引
注文までの流れ

米国株式信用取引をするには

「外国株式信用取引口座」を開設＆資金（保証金）を振替

楽天証券

総合口座

預り金（円）

国内株式信用取引
口座に振替

外国株式信用取引
口座に振替

国内株式信用取引口座

日本円

・国内株式
・投資信託

外国株式信用取引口座

米ドル　日本円　米国株式

昼は
国内株で信用取引

夜は
米国株で信用取引

信用取引口座の開設

①ウェブサイトログイン後、画面右上の「マイメニュー」
②お客様情報の設定・変更の「申込が必要なお取引（信用、先物・オプション、FXなど）」をクリック

信用取引口座の開設

③「申込が必要なお取引」の「信用取引（国内株/米国株）」の「申込」ボタンをクリックします。
（※信用取引口座（国内株）を開設済みの場合は、「信用取引（米国株）」の「申込」ボタンをクリックします。）

申込が必要なお取引

• 海外先物取引を開設される場合、先物・オプション取引口座、外国証券取引口座の開設が必要になります。

	取引	状況		お手続き
3	信用取引（国内株/米国株）		未開設	▸ 申込
	先物・オプション取引		未開設	▸ 申込
	海外先物取引		未開設	▸ 申込
	FX		未開設	▸ 申込
	CFD		未開設	▸ 申込
	バイナリーオプション		未開設	▸ 申込
	外国証券（為替取引/米国株式/中国株式/アセアン株式/外国債券）	2022/03/22	開設済	取引可
	外貨建MMF		未開設	※注意
	金・プラチナ取引（現物・積立）		未申請	▸ 申込

保証金の振替方法

マイメニューの中にある「保証金・証拠金振替」へ進む

保証金の振替方法

①で信用取引口座に入れたい通貨を選択。

②で振替先口座を選択。
外国株式信用取引口座に入れる場合は「信用保証金（米国株）」を選択

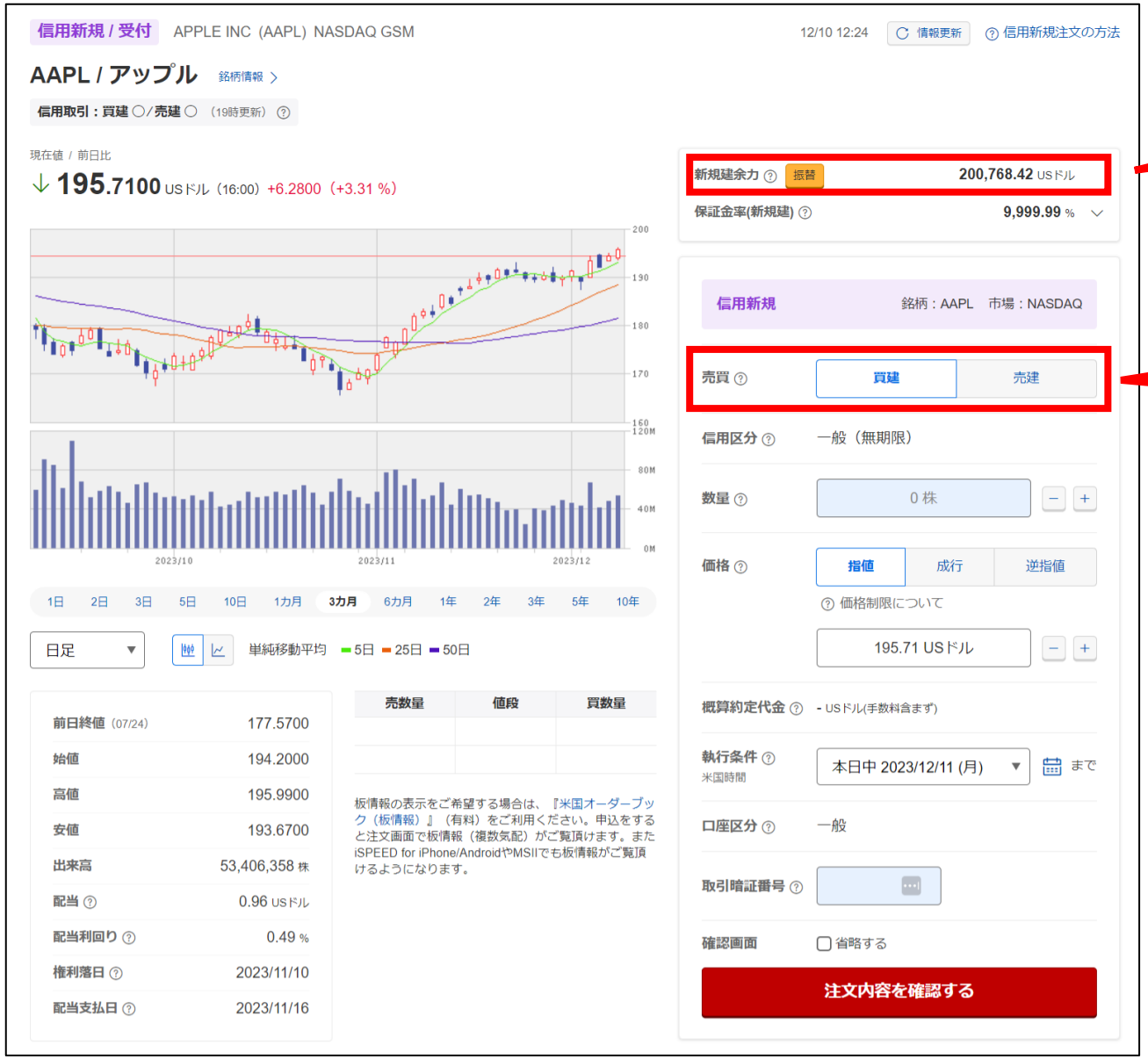
③で振替する金額を入力。
信用取引口座に入れる場合は「預り金から信用保証金（米国）へ」にチェックを入れて、金額を入力。

④「確認画面へ」進む。

信用取引の注文方法（PCウェブ）

ウェサイトにログイン後、
「米国株式」＞「信用注文」と進み
「信用新規」ページより銘柄を検索

信用取引の注文方法（PCウェブ）



この金額まで取引可能！

信用取引では売買区分を選択

「買い」から取引を始める
⇒「買建」を選択

「売り」から取引を始める
⇒「売建」を選択

それ以外の「数量」「価格」「執行条件（注文の有効期間）」は現物取引と同じ！

【Q&A】
気になっていることをチャットで
どんどん質問してください！

※お答えできないご質問もあるかもしれません…
その場合、次回の信用取引編のセミナーで回答させていただきます。

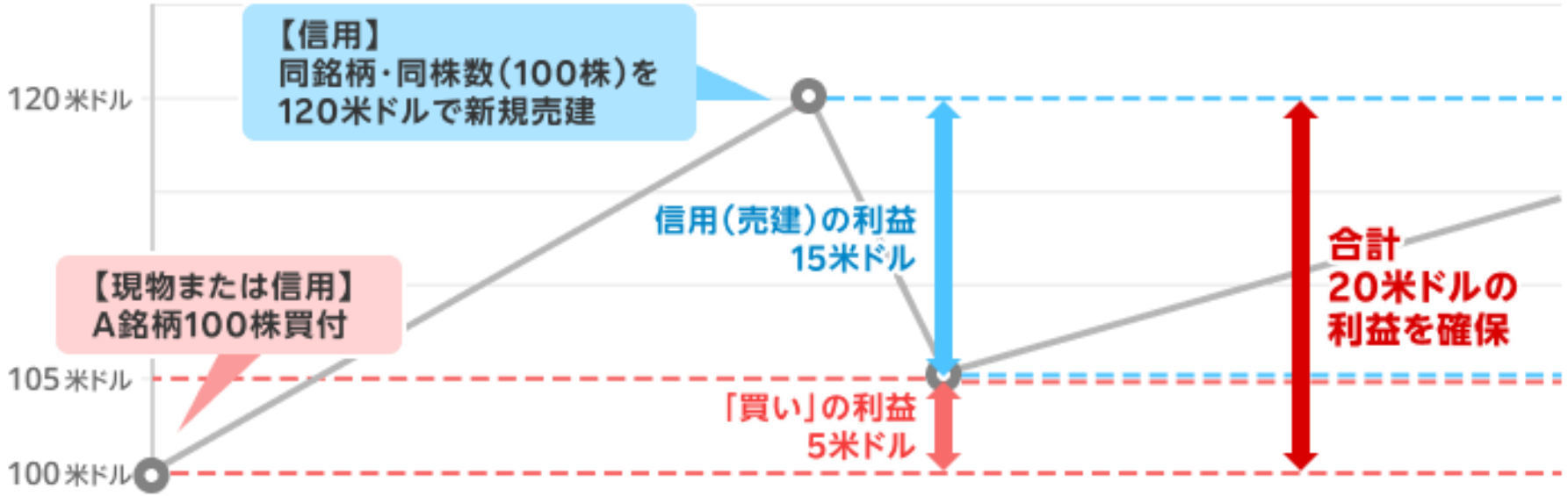
※株価や相場の見通しなどの回答はできません。ご了承ください。

（参考）
米国株式信用取引を使ったリスクヘッジ

リスクヘッジの「空売り」

保有している現物株で評価益が出ている！
今後も保有を継続したいが、株価が下がりそう…

信用取引の「売建（空売り）」を使ってリスクヘッジ！



詳しくはこちらから
特集記事をチェック！

円高リスクを回避して米国株投資

保証金
（日本円）

信用取引口座

**信用取引口座の保証金は
日本円のままなので為替変動の
影響を受けない！**

お客様

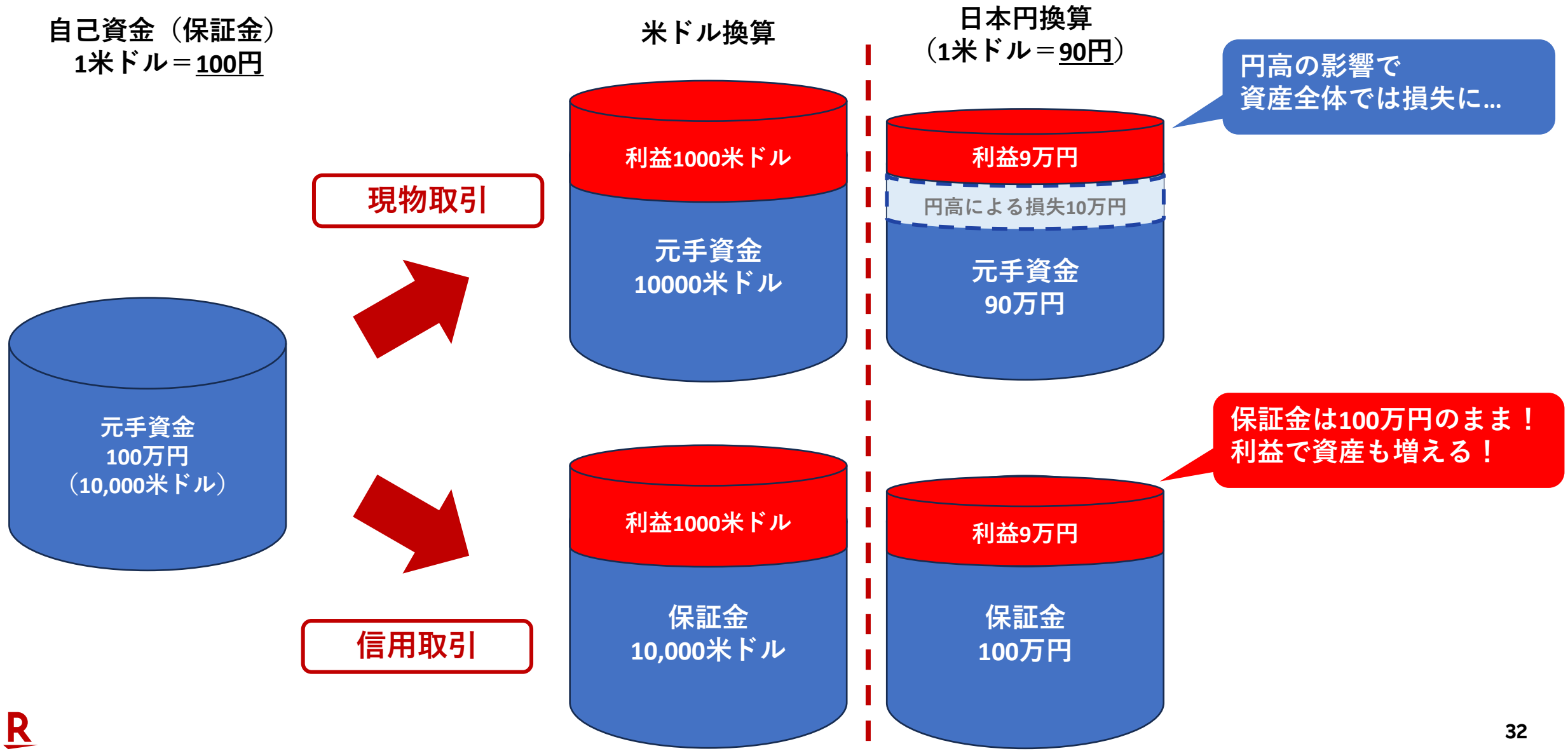
信用注文

米国株式信用取引

楽天証券

米ドルで売買

円高による資産の目減りを回避



【楽天証券内】信用新規建人数ランキング

	新規買建人数		新規売建人数	
#	ティッカー	銘柄名	ティッカー	銘柄名
1	NVDA	エヌビディア	TSLA	テスラ
2	TSLA	テスラ	NVDA	エヌビディア
3	ARM	アーム・ホールディングス	RIVN	リヴィアン・オートモーティブ
4	MU	マイクロン　テクノロジー	QQQ	インベスコQQQ 信託シリーズ1
5	TSM	タイワン・セミコンダクター・マニュファクチャリング	SPY	SPDR S&P 500 ETF
6	AAPL	アップル	VTI	バンガード・トータル・ストック・マーケットETF
7	SMCI	スーパー・マイクロ・コンピューター	CRWD	クラウドストライク
8	LLY	イーライリリー	VOO	バンガード・S&P 500 ETF
9	AVGO	ブロードコム	AMD	アドバンスト・マイクロ・デバイス(AMD)
10	AMZN	アマゾン・ドット・コム	COIN	コインベース

（出所）楽天証券内売買代金データより楽天証券作成（2024年7月1日～7月22日国内約定分）

米国株式信用取引関連キャンペーン

信用取引口座開設で
もれなくポイントプレゼント

はじめての
米国株式信用取引で
取引手数料50%キャッシュバック！

Rakuten 楽天証券

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

加入協会
日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
商号等
楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

外国株式のリスクと費用について

■外国株式　海外ETF／ETN／REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】
外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ＥＴＦ及びＥＴＮのお取引にあたっての留意点
　上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。
・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の期間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。
※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が＋（プラス）１を超えるものを「レバレッジ型」といい、－（マイナス）のもの（マイナス１倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】
米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】
〔現物取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.55%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。
※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。
※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の取引手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

〔米国株式信用取引〕
1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料
約定代金の0.33%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。
※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

ETF/ETNのリスク（抜粋）

【複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点】
ETF/ETNの中には、ボラテリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のロールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。
また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ET/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。
複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

【ETFにおける信用リスク】
リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

【ETN発行体の信用リスク】
ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。 そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、 また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

【早期償還等のその他のリスク】
市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合などは、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF/ETNのリスク」をご覧ください。

Rakuten 楽天証券